琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係/日米協議委員会開催関係

| メタデータ | 言語: |
|-------|--|
| | 出版者: |
| | 公開日: 2019-02-12 |
| | キーワード (Ja): |
| | キーワード (En): |
| | 作成者: - |
| | メールアドレス: |
| | 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43726 |



沖繩に関する日米協議委員会第 / 5 回会合

議事日程 (案)

昭和43年10月9日

證事日程の採択

- /. 沖繩住民の国政参加
- 2. 第3宮古島台風による被害
- 3. 新聞発表についての合意



The 15th Meeting of the Japan-United States Consultative Committee on Okinawa

October 9, 1968

Adoption of Agenda

- 1. Okinawan participation in the deliberations of the Japanese Diet.
- 2. Damage caused by the Third Miyakojima Typhoon.
- 3. Agreement on Statement to the Press.



沖縄に関する日米協議委員会第15回会合 における田中総務長官発言 昭和43年10月9日 (護題 沖縄住民の国政参加)

只今合意された沖縄住民の国 政参加につき まして、今後とるべき措置の詳細は、本土及び 沖繩の法律に従つておのおの決定されることに なりましようが、日本政府としては、沖縄住民 の国政参加を真に意味あるものとするためには、 本土衆、参両院における沖縄代表の数が、本土・ 相当県の衆参両院議員の数と同様に定められる こと、及び沖縄の代表の権限は、沖縄が米国の 施政権下にあるという事実の下で、日本国内法 上認めりる最大限のものとすることが望ましい。 と考えております。また、このためには沖縄の 代表の資格、選出方法及び法的地位を定める琉 球政府の法律の規定が、本土国会議員に関する 日本本土の法律の規定にそつたものとなること を期待しており、この点についても、米国政府 の理解と協力をお願いいたします。

沖縄 に関する日米協議委員会 第 / 5 回会合の開催 について (案) 昭和 4 3 年 / 0 月 9 日

- /. 沖繩に関する日米協議委員会第 / 5 回会合は、 / 0 月 9 日午前 / / 時から、日本側三木外務大 臣、田中総務長官、米国側ジョンソン駐日米国 大使出席の下に外務省で開かれた。
- 2 日米双方は、これまで両政府間で行なわれてきた協議の結果に基づき、一体化関係施策を含む日本本土の沖繩施策に沖繩住民の民意を反映させるため、選挙により選ばれた沖繩の代表が日本本土の国会の審議に参加することが窒ましく、かつ、有益であることに合意した。

沖繩住民の国政参加の実施のために必要を措置について、日米双方が、沖繩住民の要望を考 態につい、日米双方が、沖繩住民の要望を考 態しつつ、相互に協力することが合意された。

日本側は、本土衆参両院における沖繩の代表の数が、本土相当県の衆参両院議員の数と同様に定められること、及び沖繩の代表の権限は、

沖縄が米国の施政権下にあるという事実の下で、 日本国内法上認めうる最大限のものとすることが が望ましいとの見解を表明した。日本側は、また、沖縄の代表の資格、選出方法及び法的地位 を定める琉球政府の法律の規定が、本土国会議 員に関する日本本土の法律の規定にそつたもの となることを期待する旨表明した。

米側は、日本側の上記発言に異議なき旨述べた。

3. 9月22日及び23日の両日、宮古島をはじめとする沖縄西方諸島を襲つた台風による被害について、日米双方は、被災住民に対する深甚なる同情の念を表明するとともに、住民生活のすみやかなる安定のために、効果的措置がとられる必要のあることを認めた。

米側まり、第3宮古島台風による被害について報告があつた。ションソン大使は、アンガー高等弁務官よりの報告に基づき、被災地に対して、米国が直ちにとつた緊急措置についてくわ

しく説明し、米側は20万ドルの見舞金、100 トン以上にのぼる災害救援物資及び通信、輸送 及び医療面での復旧のための広範にわたる援助 を供与した旨述べた。

米側は、また、琉球政府によりとられた広範 な教援措置についても、詳細な説明を行なつた。

日本側より、日本政府としては、高等弁務官及び琉球政府の報告並びに最近被災地の現地視察及び琉球政府当局よりの事情聴取を終えて帰つた田中総務長官の報告に基づき、被災地住民の生活の安定のために、物心両面にわたり、できりる限りの援助を行なりべく、鋭意検討を進めている旨述べた。



Press Release on the 15th Meeting of the Consultative Committee on Okinawa

(Draft)

October 9, 1968.

- 1. The Fifteenth Meeting of the Consultative Committee on Okinawa was held at the Ministry of Foreign Affairs at 11 o'clock on October 9, 1968. Foreign Minister Takeo Miki and Director-General Tatuso Tanaka of the Prime Minister's Office represented the Japanese Government and Ambassador U. Alexis Johnson represented the United States Government at the Meeting.
- 2. As a result of the consultations which have been conducted between the two Governments, the Japanese and the United States sides agreed that it would be desirable and useful for elected Okinawan representatives to participate in the deliberations of the Japanese Diet in order that Okinawan views may be reflected in Japanese measures concerning Okinawa, including those related to "Ittaika".

It was agreed that the two sides would cooperate with each other with respect to the necessary measures for the actual implementation of Okinawan Diet participation, giving due consideration to the aspirations of the Okinawan residents.

The

The Japanese side expressed the view that it is desirable that the number of Okinawan representatives in the two Houses of the Japanese Diet shall be determined on the same basis as is the number of members of the two Houses from a comparable prefecture in Japan proper and that the Okinawan representatives shall be invested with the broadest possible competence that can be admitted by Japanese law given the fact that Okinawa is under United States administration. The Japanese side also expressed its expectation that the provisions of Government of the Ryukyu Islands logislation governing qualifications, electoral procedures and legal status of the Okinawan representatives shall be consistent with the provisions of Japanese law concerning membership in the Diet in Japan proper.

The United States side stated that it had no objection to the foregoing.

3. With respect to the damage caused by the typhoon which struck Miyakojima and other islands in the western part of the Ryukyu Islands on September 22 and 23, the Japanese and United States sides expressed deep sympathy for the victims and recognized that it is necessary that effective measures be taken promptly to stabilize their livelihood.

The United States side reported on the destruction left by the third Miyakojima typhoon. Ambassador Johnson gave a detailed description,

description, provided by High Commissioner Unger, of immediate United States emergency measures for the stricken areas, which included making available \$200,000, over one hundred tons in disaster relief commodities, and extensive assistance for the restoration of communications, transportation and medical services. The United States side also detailed the extensive relief measures undertaken by the Government of the Ryukyu Islands.

The Japanese side stated that, with a view to extending the maximum possible assistance and encouragement toward the certy stabilization of the victims' livelihood, the Government of Japan is actively considering relief measures on the basis of the reports of the High Commissioner of the Ryukyu Islands and the Government of the Ryukyu Islands as well as the report of Director-General Tanaka, who recently returned from Okinawa after conducting on-the-spot inspection in the damaged areas and exchange of views with the authorities concerned of the Government of the Ryukyu Islands.

沖縄に関する日米協議委員会(第/5回)出席者

昭和43年10月9日

日本側

三木 武夫 外務大臣

田中 龍夫 総理府総務長官

東郷 文彦 外務省アメリカ局長

山野 幸吉 総理府特別地域連絡局長

大河原良雄 外務省アメリカ局外務参事官

加 藤 泰 守 総理府特別地域連絡局参事官

及 川 謙 三 総理府特別地域連絡局総務課長

千葉 一夫 外務省アメリカ局北米課長

米 側

ロ・アレクシス・ジョンソン 駐日大使

リチャード・A・エリクソン 米国大使館参事官

ピーター・A・サイプ 米国大使館参事官

ロス・N・リラード 琉球諸島米国民政府副民政官

ジェームズ・J・ウィッケル 米国大使館二等書記官

The 15th Meeting of

the Consultative Committee

on Okinawa

October 9, 1968

<u>Participants</u>

Japanese Side

Hon. Takeo Miki Minister for Foreign Affairs Hon. Tatsuo Tanaka Director-General, Prime Minister's Office Mr. Fumihiko Togo Director-General, American Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs Mr. Kokichi Yamano Director, Special Areas Liaison Bureau, Prime Minister's Office Mr. Yoshio Okawara Assistant Director, American Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs Mr. Yasumori Kato Counsellor, Special Areas Liaison Bureau, Prime Minister's Office Mr. Kenzo Oikawa Head, General Affairs Division, Special Areas Liaison Bureau, Prime Minister's Office Mr. Kazuo Chiba Head, North America Division, American Affairs Bureau, Ministry

U.S. Side

H.E. Mr. U. Alexis Ambassador of the United States of America

Mr. Richard A. Counsellor, Embassy of the United Ericson, Jr. States of America

of Foreign Affairs

Mr. Peter A. Seip

Counsellor, Embassy of the United States of America

Colonel Ross N. Lillard, Jr.

Deputy Civil Administrator, United States Civil Administration

of the Ryukyu Islands

Mr. James J. Wickel

Second Socretary, Embassy of the United States of America

座席配置

昭和43年10月9日 外務大臣接見室において

| 東郷アメリカ局長 〇 エリクソン参事官 | 河原外務参事官 (| | 1 | |
|---------------------------------------|---------------------|------------|---|----------------------------------|
| | (3000) 100 20 11 11 | D . | 0 | サイプ参事官 (Peter A. Seip) |
| | 郷アメリカ局長(| O | 0 | エリクソン参事官 (Richard A. Ericson) |
| 三 木 外務大臣 O ジョンソン大使 (U. Alexis Johnso | 木 外務大臣 (| Ö | 0 | ジョンソン大使 (U. Alexis Johnson) |
| 田 中 総務長官 O リラード副民政官 (Ross N. Lillard) | 中 総務長官 (|) . | Ö | リラード副民政官 (Ross N. Lillard) |
| 山野 特連局長 〇 ウィッケル書記官 (James J. Wickel) | 野 特連局長 (| 0 | 0 | ウィッケル書記官 (James J. Wickel) |
| 加 藤 総理府参事官 〇 | 藤 総理府参事官 | С | | |
| 及川総務課長 | 川総務課長 | | | |



沖縄に関する日米協議委員会 第 / 5 回会合 議長用メモ

昭和43年10月9日

(着 席)

(報道関係者は、あらかじめ所定の位置に入 場、写真撮影の後退場。)

/. (開会及び議事日程採択)

「只今より、沖縄に関する協議委員会の第

15回会合を開催いたします。」

(蓮 訳)

「まず、ジョンソン大使から米側出席者の御紹介があると承知しております。大使どうぞ。」 (選 訳)

(ことでジョンソン大使より、米側出席者一 氏名列挙のこと一紹介) (選案)

「大使、どうもありがとう ございました。私は、本委員会の 談長として、また日本側を代表して、 (エリクソン参事官、サイプ参事官、及び沖繩から来られたリラード副民政官) 「それでは、本日の護題についてお諮りいた します。お手許にお配りした誘事日程に御異議 ありませんか。」

(通 訳)

(米側より、異議なき旨発言)

(通 訳)

「御異認がなければ、これにて護事を進めます。」

(運 訳)

2. (議題/ 沖繩住民の国政参加)

「それでは該題 / の沖繩住民の国政参加に移ります。ジョンソン大使より御発言があると承知しております。ジョンソン大使どうぞ。」

(通 訳)

(ジョンソン大使発言)

(通 訳)

「大使どうもありがとうございました。沖縄住民の年来の顧望であつた国政参加の実現について、米国政府の示された理解と協力に対し、日本政府を代表して、感謝の意を表します。

今回の合意は、沖繩をめぐる日米協力の新たなる証左として、沖繩住民を含む日本の日民ののる部では、 日米協力の重要性に対する認識をさらに深めることとなりましょう。今回の合意により、本土との神繩の日意が直接反映される道が開かれたわけでありますが、沖繩の本土をのが開かれたわけでありますが、沖繩の一体化施策が強力に推進されんとしている時に、かかる措置がとられるとしている時に、かかる措置がとられるととの意義はきわめて大きいといえまり。

今後、本土及び沖繩において、国政参加の具体的実施に必要な措置がとられることになりますが、沖縄住民の国政参加を真に効果的なるものためには、沖縄の施政権者たる光国の協力を必要とすることはいうまでもありません。その意味で、この際、今後、本問題の具体的実施に関して、米国政府が理解と協力を示さ

れるととをお願いいたします。」
(通 訳)

「ここで田中総務長官より御発言があると承知しております。田中総務長官どうぞ。」 (通 訳)

(田中総務長官発言一別添/)

(通 訳).

「田中総務長官どうもありがとうございました。ここで、ジョンソン大使から御発言があると承知しております。ジョンソン大使どうぞ。」 (通 訳)

(ジョンソン大使の同意発言)

(通 訳)

3. (議題2 第3宮古島台風による被害)

「ジョンソン大使どうもありがとうございました。

ここで、田中総務長官より御発言があると承知しております。田中総務長官どうぞ。」 (通 訳)

(田中総務長官発言一別添2)

(通 訳)

4. (議題 3 新聞発表についての合意)

「最後に、議題3の新聞発表ぶりについてお 諮りいたします。事務当局で用意した発表文案 をお手許にお配りしてありますが、これを報道 関係者に配布し、それによつて説明を行なりこ ととしたいと考えますが、御異議ありませんか。」 (通 訳)

(米側より同意する旨表明)

「では、新聞発表については、只今申し上げ

5. 閉 会

「本日の委員会は、皆様の御協力をもつてき わめて円滑に議事を進めることができました。 皆様の御協力を感謝いたします。第 / 5 回協議 委員会はこれをもつて閉会いたします。ありが とうございました。」

(通 訳)

Chairman's memo on the proceedings of the Fifteenth meeting of the Japan-U.S. Consultative Committee on Okinawa

October 9, 1968.

(Participants take seat)

(Cameramen are allowed to take picture and retire on completion)

1. (Opening and adoption of the agenda)

"I should like to open the 15th Meeting of the Consultative Committee on Okinawa."

(Interpreted)

"I understand that Ambassador Johnson wishes to introduce to us new participants on the United States side. Ambassador Johnson, please."

(Interpreted)

(U.S. participants introduced)

(Interpreted)

"Thank you very much, Ambassador Johnson. As Chairman of this Committee and also on behalf of the Japanese participants to the Committee, I should like to express my heart-felt

<u>welcome</u>

| welcome to |
|---|
| 0 8 8 6 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 |
| |
| (Interpreted) |
| "Now, I should like to consult with you on the agenda |
| for today's Meeting. Is there any objection to the |
| adoption of the draft agenda which has been distributed |
| to you?" |
| (Interpreted) |
| (U.S. side will say that it has no objection) |
| (Interpreted) |
| "As there is no objection, I declare that the agenda |

has been adopted."

(Interpreted)

2. (Agenda Item No. 7: Okinawan Participation in the deliberations of the Japanese Diet)

"The Committee now proceeds to the first item on the Agenda, "Okinawan participation in the deliberations of the Japanese Diet."

I understand Ambassador Johnson wishes to make remarks.

Ambassador Johnson, please."

(Interpreted)

(Remarks by Ambassador Johnson)

(Interpreted)

"Thank you very much, Ambassador Johnson."

"On behalf of the Government of Japan, I would like to express our appreciation for the understanding and cooperation which the United States Government extended toward the realization of the Okinawan participation in the deliberations of the Japanese Diet, which has been a long cherished desire of the Okinawan residents.

The agreement now reached demonstrates anew close cocperation between our two countries concerning Okinawa.

This will no doubt deepen the appreciation on the part of the
Japanese people, including the Okinawan residents, of the
importance of cooperation between our two countries.

According

According to this agreement, a formula will be established in which Okinawan views may be reflected directly in Japanese measures concerning Okinawa. It is particularly significant to establish such a forum at the time when measures for "Ittaika" between Okinawa and Japan proper are going to be vigorously promoted in preparation for the return of Okinawa to Japan proper.

Necessary measures for the actual implementation of
Okinawan Diet participation are to be taken in Okinawa and
Japan proper. In order to ensure that Okinawan Diet participation be conducted in an effective and productive manner,
cooperation on the part of the United States, maintaining the
administrative rights over Okinawa, is no doubt necessary.
Therefore, I wish to take this occasion to request the United
States Government to extend understanding and cooperation toward
the future implementation of Okinawan Diet participation."

(Interpreted)

"I understand Director-General Tanaka wishes to make remarks.

Director-General Tanaka, please."

(Interpreted)

(Remarks by Director-General Tanaka)

"With respect to the actual implementation of the agreed Okinawan participation in the deliberations of the Japanese Diet, $\frac{\text{detailed}}{\text{detailed}}$

detailed arrangements shall be determined both in Okinawa and Japan proper according to the respective domestic law.

In order to ensure that the Okinawan Diet participation be really significant, the Government of Japan considers that it is desirable that the number of Okinawan representatives in the two Houses of the Japanese Diet shall be determined on the same basis as is the number of members of the two Houses from a comparable prefecture in Japan proper, and that the Okinawan representatives shall be invested with broadest possible competence that can be admitted by Japanese law, given the fact that Okinawa is under United States Administration. For this purpose, the Government of Japan also expects that the provisions of GRI legislation governing qualifications, electoral procedures and legal status of the Okinawan representatives be consistent with the provisions of Japanese law concerning membership in the Diet in Japan proper.

Accordingly, I would like to request that the United States Government would extend understanding and cooperation toward these expectations."

(Interpreted)

"Thank you very much, Director-General Tanaka."
(Interpreted)

"I understand Ambassador Johnson wishes to make remarks.

Ambassador Johnson, please."

(Interpreted)

(Remarks by Ambassador Johnson)

(Interpreted)

"Thank you very much, Ambassador Johnson."

(Interpreted)

3. (Agenda No.2 The Damages caused by the third Miyakojima Typhoon)
"The Committee now proceeds to the Agenda item No.2, The
Damages caused by the third Miyakojima Thphoon. I understand
Ambassador Johnson wishes to make remarks, Ambassador Johnson,
please."

(Interpreted)

"Thank you very much, Ambassador Johnson.

Now, I understand Director-General Tanaka wishes to make remarks, Director-General Tanaka, please."

(Interpreted)

(Remarks by Director-General Tanaka)

"I wish to express my heart-felt sympathy for the heavy damages caused by the third Miyakojima Thphoon which struck Miyakojima, Kumejima and other islands on September 22 and 23. I recently visited the damaged areas to conduct an on-the-spot inspection as well as to express my personal sympathy to the victims of the disaster.

I was encouraged by the fact that the Government of the Ryukyu Islands established the Headquarters for Disaster Relief and was conducting on-the-spot inspections and was taking other emergency measures. In response to the request from the Headquarters for Disaster Relief, the Government of Japan intends to extend financial

and

and technical assistance at the earliest possible date in order that emergency measures as well as permanent measures aiming at stabilization of people's livelihood, rehabilitation of industry and reconstruction of public facilities may be carried out in an effective manner."

(Interpreted)

"Thank you very much, Director-General Tanaka."

(Interpreted)

4. (Agenda No.?, Agreement on Statement to the Press)

"Finally, I should like to consult with you on the Press Release.

A draft press release was prepared at officials' level and distributed to you. I should like to propose that this press release be distributed to the press and explanation be made in accordance with it. Do you have any objection to this?"

(Interpreted)

(The U.S. side will concur in the proposal)

"Then, it is agreed that the press release will be handled along the line I just mentioned."

(Interpreted)

5. (Closing)

"I should like to express to you all my appreciation for your cooperation, which has made the smooth proceeding of this meeting possible. I now wish to announce the closing of the 15th meeting of the Consultative Committee. Thank you very much."

(Interpreted)

武龙用メモ試動了に削す了南上追加分

到 外務省

| | | 大学度に日米流度なきるの間で打会の上世界を観念を開くかいことは、大学を開くかいことは | からうりに見しては | からうり | からうんはしては | からうのはしては | からるりるはっては |
|--|---|---|--|---|---------------------|---|-----------------------|
| - | - | からうりに見しては | からうりましては | からうるしては | からうりに見しては | からうりとはっては | からうりるはっては |
| | | からうのはしては | からうりましては | からうるはしては | からうりましては | からうりましては | からるのはしては |
| | | からうりるはっては | からうのはしては | からうるり | からうり | からうりるはっては | からうるのは |
| | | からうりましては | からうりはしては | からうるりては | からうりにはしては | からうりにはしては | からうられ |
| <u>-</u> | <u></u> コ | からうるのは | からうりはは | からうるのは | からうりは | からうりには | からうりは |
| - | - | からうらいては | からうし | からうら | からうし | からうらしては | からうのは |
| 12 | 12 | とならう | となるるのかところは | とならるのは | となるるのは | とならうは | となるるのは |
| 12 | 12 | となるるのは | となるるのは | となるるのは | とならるのは | となるるのは | となるるのは |
| 12 | 12 | となるのかところは | とならうのは | となるるのは | とならるのは | となるるのは | とならるのは |
| 12 | 12 | となるるのは | となるるのは | となるるのは | とならるのは | となるるのは | とならうらい |
| 12 | 12 | 1 2 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 | - 23 A B B B B B B B B B B B B B B B B B B | とならう | | | とならるのか |
| 7 12 |) L | とならう | とならう | とならう。 | とならうし | 123 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 | とならう。 |
| D. 12 | D. 12 | 日米流度なるるのは | 日米流漢なるるの | 日米流度沿至るのは | 日米流度なるるのは | 日米流漢なるるのか | 一次なることならうい |
| 7 12 | D' 12 | 日米流漢なるるのは | 日米流度なるるの | 日米流漢なるるのは | 日米流度なるるの | 日米流漢なるるのか | 一次多言とならうらい |
| D. 12 | D 12 | 日米流度名言るの | 日米流度なるるの | 日米流度名言るの | 日米流度なるるの | 日米流度なるるの | 日米流展なるるの |
| D.\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ | D' 12 | 日米流度なるるのは | 日米流度给多多的 | 日米流度温息 | 日米流度なるるのは | 一次多言をならう | 一次多言とならる |
| D. I | 7 12 | は米流度ならうらい | 日米流漢なるるのは | は大流度なるるのは | 一次多ることとならうらいまではまるらい | 日光流度得雪石的 | 一次あることならうらいは、大流度はなるのは |
| 7 12 12 | 7 12 | 1 2 3 1 2 2 3 5 3 1 5 3 | さることとならう | 1 2 3 1 2 2 3 5 3 1 5 3 1 5 3 1 5 3 1 5 5 3 1 5 5 5 5 | さることとならう | さるることとならう | 一きあることとならう。 |
| からうつろは | からうっては | 75326 | ナカることと | 2532 | ナカることと | 75326 | ナナタることと |
| からるのは | からうっては | | 1 | | ~ . | ~ - | ~ . |
| からうとは | からうっては | | | | | | ~ . |
| からうとは | からっては | | | | ~ . | ~ . | |
| からるりに見しては | からるのかに | | | | - · | ~ - | <u> </u> |
| からるりに見しては | からるのかに | _ | _ | | _ | _ | _ |
| からるり | からるのは | | | | | | |
| からうからしては | からうとはしては | | | | | | |
| からうるはしては | からうるは | | | | | | |
| からうるしては | からうり | | | | | | |
| からうりはしては | からうらいては | | | | | | |
| からうりは | からうり | | | | | | |
| からうられるところは | からうるのは | | | | | | |
| からうるしてはしては | からうなりるは | | | | | | |
| からうりはしては | からるのはしては | | | | | | |
| からうりはしては | からうり | | | | | | |
| からうりに見しては | からうりるはっては | | | | | | |
| からうるはっては | からうりに見しては | | | | | | |
| からうりましては | からうりに見しては | | | | | | |
| からるかに見しては | からうのはしては | | | | | | |
| からるのはっては | からうりましては | | | | | | |
| からうのはしては | からうのはしては | | | | | | |
| からうるりてはっては | からうりはしては | | | | | | |
| 京後要に日米流度行るかにころは、京後要に日米流度を開くかにころは、東京書の上であることならるは | 京後要に日米流度な事(からことは了な事を事を事くからことは | | | | | | |
| 水洋度 中展景を南くからことは 水洋度 中展景を南くからことは | 京後妻に日米流度な事(から)とは、京後妻に日米流度を南くからうとは、東名妻のようとは、京名妻のからいては | | | | | | |
| 大学度中建設的子等に同して | 京後東に日米流展行るようとは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | | | | | | |
| からうりとはっては | 京後要に日米流東行るしては一大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大 | | | | | | |
| 水井茂 中尾景のを南くかいては水井茂 中尾景のを南くかいては | 京後要に日米流寓行当るのは、京後要に日米流寓会を開くかにいては、東京当るとは、大流寓行当るのは、京京当るのは、 | | | | | | |
| 大海栗に回来流度な事(からことはうろうないのなまでは表を見るを開くからいては来来を見るを開くからいては来来を見るとならる。 | 京後東に日米流度な事しかにことは了ないの協議を見るを開しかにことは | | | | | | |
| 水子度中海震を南くからことならるにでは大きを中海では、大きの上であるとは、大きのでは、ないでは、大きのでは、ないでは、大きのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない | 京後更に日米流度な事くかいことは一大大大学を開発を見るを用くかいことは | | | | | | |
| 水井及 中港景会を南くかいっては水井及 中港景会を南くかいっては | 京後要に日米流度な事(かにことは)なるとは後妻を事くかにことは | | | | | | |
| 京後要に回来流度な事(かにことはう)日本年度中海最高を南くかにことは | 本年度神麗最后、東省当るのは、大年度中には、大年の上にあることならう。 | | | | | | |
| 京後要に日米流度な事(からことは了な事を開展を開くからことは、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | 京後要に回来流度な事(からことは了る」 | | | | | | |
| 水子度中港最后を南くかいことは了るを下口米流度を南くかいことは | 京後要に日米流度な事(からことならう」で打成の上次多を南くからいては | | | | | | |
| 京後更に日米流度行るのは、 なきを開くかいことは、 なきなと 日米流度が予りにしては | 大学度中港最后を開くかにことは、了協康を自分を開くかにことは、「協議を自分を開くかにことは、「大学」を開くかにことは、「大学」を開きると、「大学」を開きると、「大学」を開きると、「大学」を開きると、「大学」を開きるという。 | | | | | | |
| 大後寒に日米流風なるのはいては一日米流風を見合を用くかにいては水子及中に日米流風なるのは | 大学度中尾張い予年に見して打成了上世界高度を開くかにことは | | | | | | |
| 京後東に日米流東行るのはですなり、海豚を質念を用くかにことは、東江電るのは、東江電るのは、東江電台のは、東江電台のは、東江では、東江電台のは、東江では、東江では、東江では、東江では、東江では、東江では、東江では、東江で | 大学度中港場合を開くかにいては、大学度中港場合を開くかにいては、大学を見合を開くかにいては、大学を見合を開くかにいては、大学を見合を開くかにいては、 | | | | | | |
| 京後東に日米流展を事しかにことは、了協康を自念を開しかにことは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 大手度 中尾接的子子に買して打成す上 法者を 上 はることならる | | | | | | |
| 京後要に日米流 関係するのはなりでは、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | 大学度中港援助予年に宣して打会の上海を置合を開くかにことは | | | | | | |
| 京後東に日米流関名書るのはではなり上に見しては大きりを表を見合を開くかにいては、本年度が見るを開くかにいては | 今後要に日米流度なるのは、 なきを 中尾援いることならるは、 「 「 「 」」 「 」」 「 」」 「 」」 「 」」 「 」」 「 」 | | | | | | |
| 大後要に日米流度なるのはではなり上に見しておんの上にあることなりではるのは | 大学度中尾張い予年に見して打成了上世界流度を開くかにことは | | | | | | |
| 京後度に日米流関係重るりのはいの協議を自会を用くかにいては、対域を自会を用くかにいては、対域を自分にいては、対域を自分にいては、 | 大学度中海震的方面(かにことは)が展を自分を開くかにことは | | | | | | |
| 京後東に日米流東行るのはですなり、海豚を質をを開くかにことは、東江電子がはるのは、東江電子のは、東江電子のは、東江電子では、東江では、東江電子では、東江では、東江では、東江では、東江では、東江では、東江では、東江では、東江 | 大学度中港場外子年に見して打成す上、世界高度を開くかにいては、大阪東に日米流度なるあり、大阪東海のかにいては、大阪東海の上、大阪東海の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の大阪の | | | | | | |
| 京後東に日米流東外では10万日で打成の上におることならる。 はれる 東外電気を南くかいことは | 京後東に日米流東行るのはころは、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | | | | | | |
| 京後東に日米流展を事くかにことは、子様東に日米流展を事くかにことは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 大学度に日米流度なるのはいのなまでは、日本流度を開くかにことは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | | | | | | |
| 京後要に日米流展を高くかにことは、子様要に日米流展を高くかにことは | 大学度中港援助予年に見して大阪東に国外流展を自分を開くかにことは | | | | | | |
| 大学度中海景の一十一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | 大学度中港援助予年に自己不成果了 は大大学 中港援助予年に自己 | | | | | | |
| 大学度中海最高之間のからては | 大海東に回来流展行者のからて村成の上世のまで、東海を景人を開くからことは | | | | | | |
| 大学度中海最高之間のからては | 大海東に回来流展行者のからて村成の上港等人を開くからことは | | | | | | |
| 大学度中海最高之間のからては、大学度中海最高を開くからことは、大阪東に回来、武東省書ののは、大学の上では、東省書ののは、大学の上では、大学の上では、大学の上では、大学の上では、大学の上では、大学の上では、 | 大海東に回来流展行者のからて村成の上港等人を開くからことは | | | | | | |
| 大学度中海最高を南くかにことは了るを東に日米流度を南くかにことは、京海では、東海である。 | 大海東に回来流展行者のからて村成の上港省を開くからことは | | | | | | |
| 大学度中海最高を開くかけられば、大学度中海最高を開くかけられば、東京を開くかけられば、東京を高くかけられば、東京を高くかけられば、 | 大海東に回来流展行当るのは、 なるとはらるには、 はなまに回来流展を開くかにことは、 はなまるのに | | | | | | |
| 大学度中海最高を開くかけいては、大学度中海最高を開くかけいては、大流東に日米流東省を開くかけいては、大流東省を開くかけいては、 | 大海東に日米流東行るるのは、江太中には日本流東に日米流東行るとは、京海を南くかにことは、京海を南くかにことは、 | | | | | | |
| 大学度中海最高を開くかけられば、大学度中海最高を開くかけられば、東京を開くかけられば、東京を高くかけられば、東京を高くかけられば、 | 大海東に回来流展行当るのは、 なるとはらるには、 はなまに回来流展を開くかにことは、 はなまるのに | | | | | | |
| 大学度中海最高を開くかけられば、大学度中海最高を開くかけられば、東京を開くかけられば、東京を高くかけられば、東京を高くかけられば、 | 大海東に回来流展行当るのは、 なるとはらるには、 はなまに回来流展を開くかにことは、 はなまるのに | | | | | | |
| 大学度中海最高之間(かにことは)が後度に回来流度を開くかにことは | 大海東に回来流展行者のからて村成の上港省を開くからことは | | | | | | |
| 大学度中海最高之間のからては | 大海東に回来流展行者のからて村成の上世のまで、東海を景人を開くからことは | | | | | | |
| 大学度中海景の一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 大学度中海景色を開くかにことは、一十一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | | | | | | |
| 京後要に日米流度なるのかにことは子後要に日米流度を開くかにことは | 大学度中港援助予年に見して大阪東に国外流展を自分を開くかにことは | | | | | | |
| 京後要に日米流展を事くかにことは、子様要に日米流展を事くかにことは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 大学度に日米流度なるのは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | | | | | | |
| 京後要に日米流展を事くかにことは、子様要に日米流展を事くかにことは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 京後東に日米流東行るのにころは水子及中港援助予年に見して | | | | | | |
| 京後東に日米流展を南くかにことは、丁格東に日米流展を南くかにことは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 京後東に日米流東行るのはいのお後東に日米流東行場では、東行るるとは、東行るるのは、東行るるのは、大流東行るるのは、大流東行るるのは、 | | | | | | |
| 京後東に日米流東外では10万日で打成の上にあることならる。 東外電気を南くかにことは | 京後東に日米流東行るのはころは、 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | | | | | | |
| 京後東に日米流東行るるのは、江村会中に日米流東行るでは、東京を南くかにことは、東京を南くかにことは、江村会の上にあることならるのは、 | 大学度中海景的 東海雪の大阪東に国来流 東海雪の大阪東に 日来流 東海雪のかいことは | | | | | | |
| 京後東に日米流東行るのはです人が上ででは、日米流東に日米流東行るでは、東行るるのは、大大東行るのは、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | 大学度中港場外予年に見して打成す上港の上港の大流東行日米流東行り、大流東省を南くかにいては、大流東省を南くかにいては、大流東省を南くかにいては、 | | | | | | |
| 京後東に日米流東行るのはるるのででは今後東に日米流東行りれるとはあることならうに | 大学度中海教学等を開くかにいては、大学度中海教学等を開くかにいては、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の | | | | | | |
| 京後東に日米流東行者るのはで打成す上に出来流東行者を開くかにことは | 大学度中海景的 東海雪の大阪 東海雪の おりままる はままる はままる はれる 上でする ことならる はっては | | | | | | |
| 京後東に日米流東沿雪るのはで打成す上港の上港の大流東沿雪を開くかにことは | 京後東に日米流度なるのは、江太子に見して打成了上世子で東京を開くかにふては | | | | | | |
| 京後東に日米流東行るのにいては、江太ヶ上は一日米流東行り、大流東行ると南くかにいては、大流東江をあるらいでは、大きの上では、大きの上では、大きの上では、大きの上では、大きの上では、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きのは、大きの | 大学度中尾張的予年に見して打成了上海家を見合を用くかにことは | | | | | | |
| 大後寒に日米流度なるのはなりを開くかにいては水子度沖縄援いずるしてはるとはりまた。 | 大学度中尾張い予年に見して打成了上海家を見念を用くかにいては、 | | | | | | |
| 京後寒に日米流 関係者のなっては、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | 大学度中港最后を開くかにことは、了協康を复合を開くかにことは、「協議を复合を開くかにことは、「大学」を表表を開くかにことは、「大学」を表表を開くかにことは、「大学」を表表を表表を表表を表表を表表を表表を | | | | | | |
| 京後要に日米流度なるのでででは今日は一日米流度を開くかにことは | 大学度中港援助予年に置して打会生活を見合を開くかにことは、 | | | | | | |
| 京後東に日米流東行るのは、 ないのないの 協議を自分を開くかにことは | 大手度 海尾を南くかにことは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | | | | | | |
| 京後東に日米流度なるらいのなまでは、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | 大学度中海教学を開くかにいては、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | | | | | | |
| 大き屋に日米流度なるのはなりでは、一一一日米流度を見合を開くかにいては水土度を見合を開くかにいては水土度が高いるとなりでは | 今後要に日米流度なるのは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | | | | | | |
| 京後更に日米流度行るのは、 なきを開くかいことは、 なきなと 日米流度が予りにしては | 大学度中港最后を開くかにことは、了協康を自分を開くかにことは、「協議を自分を開くかにことは、「大学」を開くかにことは、「大学」を開きると、「大学」を開きると、「大学」を開きると、「大学」を開きると、「大学」を開きるという。 | | | | | | |
| 水子度中港最后を南くかいことは了るをまた。日米流度行うないことは | 京後要に日米流度な事(からことはううとで打成の上述ることとはあることならうに | | | | | | |
| 水子度中港最后を開くからことは了るを見て打成の上によるとは、東省を同人からことはらると、東省をあるとは、 | 京後要に日米流度な事(からことならう」でではまる上であることならうられているとはまることならうられてはまるとは、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | | | | | | |
| 京後要に日米流度な事(からことなり)」で打成め上に多るでは、東行当るしては | 京後要に回来流度な事(からことはうる」とで打成す上に多ることならる。 | | | | | | |
| 大谷里に日米流度な書るのは、一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 京後要に回来流度な事(からつては水子度性展展的予算に同しては | | | | | | |
| 京後東に日米流度な事しかにいては水井度中展展の手流度を申しからいては | 京後要に日米流寓名を南くかにいては水子及中縄援いることならる。 | | | | | | |
| 水井及 中尾景のを南くかいては水井及 中尾景のを南くかいては | 本年度中温泉を南くからって村成の上によるとは、京福東に日米流展行るでは、京福寺のは、江南寺のは、江南寺では、東海寺のは、江南山、江南山、江南山、江南山、江南山、江南山、江南山、江南山、江南山、江南山 | | | | | | |
| 水子度中港最后を用くかいことは了るを手を見合を用くかいことは | 京後要に日米流度なるのにいては、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | | | | | | |
| 京後要に日米流度な事(かいことは了なりを開きるとは、一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | 京後要に回来流度な事(からことは了なりまた。 はんかにいてはないでは、東外ではるのは、大きないではるのは、大きないではるのは、大きないでは、ないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、大きないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、 | | | | | | |
| 京後要に回来流度な事(からことはうろうな事を見るを開くからことは | 京後東に日米流度な事(かいっては水子度神縄援いることならう。 | | | | | | |
| 京後東に日米流度な事(かに)では来年度を開くかにいては、京後東に日米流度な事(かにいては、東京書ののは、京京書ののは、東京書ののは、東京書ののは、東京書のは、東京書のは、東京書のは、東京書のは、東京書のは、東京書のは、東京書のは、東京書のは、東京書のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京 | 京後要に回来流 関係するしてはなりというな要に回来流 関係を用くかにいては | | | | | | |
| 大学度中属最后的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个一个一个一个一个一个一个一个一个一 | 京後要に日米流寓名を南くかにことは了ないの協議を自然を南くかにことは | | | | | | |
| 大学度中属最后中间外流度的多年1月1日 | 京後要に日米流度な事くかにことは、一下海東に日米流度を南くかにことは、東京至るのには、大流度を南くかにことは、一下海の上では、東京を南くかにことは、 | | | | | | |
| 京後要に日米流東行るしては了るとならるは、一十一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 | 京後要に日米流度な事(からことは了な事を開くからことは | | | | | | |
| 大学度中建設的子等に同して | 京後要に日米流展行るようなはって打成の上は多くを開くかいことは | | | | | | |
| 大学度中温度を南くからことは、大学度中温度を南くからことは | 京後要に日米流展が予年に見して打成す上は表質を中に関するとはあることならうに | | | | | | |
| 水洋度 中展景を南くからことは 水洋度 中展景を南くからことは | 京後妻に日米流度な事(から)とは、京後妻に日米流度を南くからことは、東名妻のようとは、東名妻のからことは | | | | | | |
| 京後妻に日米流度な事(からことは)なるまに日米流度を南くからことは | 京後要に日米流東行るからことは了ないのは最重なとは、東京を南くからことは、東京を南くからことは、東京を南くからことは、東京を南くからことは、東京を南くからことは、東京を南くからことは、東京を東京に関して | | | | | | |
| 京後要に日米流東行事の上で打成の上でおることならるは、東行事を関係を開くかにことは、京行事のは、東京のは、東京のは、東方のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京のは、東京 | 京後寒に日米流度な事くかにことは、大神寒を見をを南くかにことは、大神寒を見をを南くかにことは、大神のからことは | | | | | | |
| からうりに見しては | からうのはしては | | | | | | |
| からるのはっては | からうるりては | | | | | | |
| からうりとはっては | からるのはしては | | | | | | |
| からうかに見しては | からうのはしては | | | | | | |
| からうのはしては | からうりに見しては | | | | | | |
| からうりはしては | からるのはしては | | · | | | | |
| からうのはしては | からうりに見しては | | | | | | |
| からるかに見しては | からうりはしては | | | | | | |
| からうりはしては | からうりはしては | | | | | | |
| からうとは | からうなりるは | | | | | | |
| からうりはしては | からうりは | | | | | | |
| からうりましては | からうりはしては | | | | | | |
| からうりはしては | からうりましては | | | | | | |
| からうりはしては | からうるはっては | | | | | | |
| からうしてはしては | からうしては | | | | | | |
| からうりはしては | からうりはしては | | | | | | |
| からうりはしては | からうのは | | | | | | |
| からうり | からうり | | | | | | |
| からうり | からうとはしては | | | | | | |
| からうりはしては | からうらいては | | | | | | |
| からうりはしては | からうり | | | | | | |
| からうり | からうり | | | | | | |
| からうられると | からうらいとは | | | | | | |
| からうりはしては | からうとはしては | | | | | | |
| からうとは | からうとは | | | | | | |
| からうるり | からうるり | | | | | | |

Chairman's memo on the proceedings of the Fifteenth meeting of the Japan-U.S. Consultative Committee on Okinawa

October 9, 1968.

(Participants take seat)

(Cameramen are allowed to take picture and retire on completion)

1. (Opening and adoption of the agenda)

"I should like to open the 15th Meeting of the Consultative Committee on Okinawa."

(Interpreted)

"I understand that Ambassador Johnson wishes to introduce to us new participants on the United States side. Ambassador Johnson, please."

(Interpreted)

(U.S. participants introduced)

(Interpreted)

"Thank you very much, Ambassador Johnson. As Chairman of this Committee and also on behalf of the Japanese participants to the Committee, I should like to express my heart-felt

welcome

| welcome | to | ٠ | • • | | | ٠ | • • | , ' | • | • | • • | • | ٠ | • | • • | • | • | • | • | • | | | 4 | ۰ | • | • | • | a | • | • | • • | • | • | • | | • | 9 | • | 9 | 5 • | • |
|-----------------|-----------|---|-----|-----|----|---|-----|------------|---|---|-----|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|----|-------|---|---|---|-----|-----|---|---|---|---|---|---|---|------------|----|
| * # # * * * * * | | • | • • | ۰ ، | | ٠ | • 0 | • | • | • | • • | • | ۰ | • | ٠, | | | • | • | • | • • | • | • | • | • | ۰. | | | • | • | | . 4 | | • | • | ۰ | ٠ | • | • | ٠. | • |
| 4 * * * * * * | , p a • s | | • • | • | ٠. | • | • • | • | ۵ | • | , , | | ۰ | • | | | • | ٠ | • | • | • • | | ۰ | ۰ | • | • | | ۰ | ۰ | • | ۰. | • • | | • | • | | o | | • | ۰ • | 11 |
| (I | nterp | œ | οt | e | (£ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

"Now, I should like to consult with you on the agenda for today's Meeting. Is there any objection to the adoption of the draft agenda which has been distributed to you?"

(Interpreted)

(U.S. side will say that it has no objection)

(Interpreted)

"As there is no objection, I declare that the agenda has been adopted."

(Interpreted)

2. (Agenda Item No. 2; Okinawan Participation in the deliberations of the Japanese Diet)

"The Committee now proceeds to the first item on the Agenda, "Okinawan participation in the deliberations of the Japanese Diet."

I understand Ambassador Johnson wishes to make remarks.

Ambassador Johnson, please."

(Interpreted)

(Remarks by Ambassador Johnson)

(Interpreted)

"Thank you very much, Ambassador Johnson."

"On behalf of the Government of Japan, I would like to express our appreciation for the understanding and cooperation which the United States Government extended toward the realization of the Okinawan participation in the deliberations of the Japanese Diet, which has been a long cherished desire of the Okinawan residents.

The agreement now reached demonstrates anew close cooperation between our two countries concerning Okinawa.

This will no doubt deepen the appreciation on the part of the
Japaneso people, including the Okinawan residents, of the
importance of cooperation between our two countries.

According



Statement by Foreign Minister Miki on the Okinawan participation in the deliberation of the Japanese Diet

On behalf of the Government of Japan, I would like to express our appreciation for the understanding and cooperation which the United States Government extended toward the realization of the Okinawan participation in the deliberations of Lapanese Diet, which has been a long cherished desire of the Okinawan residents.

The agreement now reached demonstrates anew close cooperation between our two countries concerning Okinawa. This
will no doubt deepen the appreciation on the part of the
Japanese people, including the Okinawan residents, of the
importance of cooperation between our two countries.

According to this agreement, a formula will be established in which Okinawan views may be reflected directly in Japanese measures concerning Okinawa. It is particularly significant to establish

establish such a forum at the time when measures for "Ittaika" between Okinawa and Japan proper are going to be vigorously promoted in preparation for the return of Okinawa to Japan proper.

Necessary measures for the actual implementation of Okinawan Diet participation are to be taken in Okinawa and Japan proper. In order to ensure that Okinawan Diet participation be conducted in an effective and productive manner, cooperation on the part of the United States, maintaining the administrative rights over Okinawa, is no doubt necessary. Therefore, I wish to take this occasion to request the United States Government to extend understanding and cooperation toward the future implementation of Okinawan Diet participation.



According to this agreement, a formula will be established in which Okinawan views may be reflected directly in Japanese measures concerning Okinawa. It is particularly significant to establish such a forum at the time when measures for "Ittaika" between Okinawa and Japan proper are going to be vigorously promoted in preparation for the return of Okinawa to Japan proper.

Necessary measures for the actual implementation of
Okinawan Diet participation are to be taken in Okinawa and
Japan proper. In order to ensure that Okinawan Diet participation be conducted in an effective and productive manner,
cooperation on the part of the United States, maintaining the
administrative rights over Okinawa, is no doubt necessary.
Therefore, I wish to take this occasion to request the United
States Government to extend understanding and cooperation toward
the future implementation of Okinawan Diet participation."

(Interpreted)

"I understand Director-General Tanaka wishes to make remarks.

Director-General Tanaka, please."
(Interpreted)

(Remarks by Director-General Tanaka)

"With respect to the actual implementation of the agreed Okinawan participation in the deliberations of the Japanese Diet, $\frac{\text{detailed}}{\text{detailed}}$

Statement of Director-General Tanaka of the Prime Minister's Office of the Okinawan Participation in the Deliberations of the Japanese Diet

With respect to the actual implementation of the agreed
Okinawan participation in the deliberations of the Japanese
Diet, detailed arrangements shall be determined both in Okinawa
and Japan proper according to respective domestic law.

In order to ensure that the Okinawan Diet participation
be really significant, the Government of Japan considers that
it is desirable that the number of Okinawan representatives in
the two Houses of the Japanese Diet shall be determined on the
same basis as is the number of members of the two Houses from
a comparable prefecture in Japan proper, and that the Okinawan
representatives shall be invested with broadest possible
competence that can be admitted by Japanese law, given the
fact that Okinawa is under United States Administration. For
this purpose, the Government of Japan also expects that the
provisions

provisions of GRI legislation governing qualifications, electoral procedures and legal status of the Okinawan representatives be consistent with the provisions of Japanese law concerning membership in the Diet in Japan proper.

Accordingly, I would like to request that the United States Government would extend understanding and cooperation toward these expectations.

(interpreted)

detailed arrangements shall be determined both in Okinawa and Japan proper according to the respective domestic law.

In order to ensure that the Okinawan Diet participation be really significant, the Government of Japan considers that it is desirable that the number of Okinawan representatives in the two Houses of the Japanese Diet shall be determined on the same basis as is the number of members of the two Houses from a comparable prefecture in Japan proper, and that the Okinawan representatives shall be invested with proadest possible competence that can be admitted by Japanese law, given the fact that Okinawa is under United States Administration. For this purpose, the Government of Japan also expects that the provisions of GRI legislation governing qualifications, electoral procedures and legal status of the Okinawan representatives be consistent with the provisions of Japanese law concerning membership in the Diet in Japan proper.

Accordingly, I would like to request that the United States Government would extend understanding and cooperation toward these expectations."

(Interpreted) -

"Thank you very much, Director-General Tanaka."
(Interpreted)

```
"I understand Ambassador Johnson wishes to make remarks.

Ambassador Johnson, please."

(Interpreted)

(Remarks by Ambassador Johnson)

(Interpreted)

"Thank you very much, Ambassador Johnson."

(Interpreted)
```

3. (Agenda No.2 The Damages caused by the third Miyakojima Typhoon)
"The Committee now proceeds to the Agenda item No.2, The
Damage caused by the Third Miyakojima Thphoon. I understand
Ambassador Johnson wishes to make remarks, Ambassador Johnson,
please."

(Remarks to the Committee of the Agenda item No.2, The

Committee of the Agenda item No.2, The

Damage caused by the Third Miyakojima Thphoon. I understand

Ambassador Johnson wishes to make remarks, Ambassador Johnson,

(Interpreted)

"Thank you very much, Ambassador Johnson.

Now, I understand Director-General Tanaka wishes to make remarks, Director-General Tanaka, please."

(Interpreted)

(Remarks by Director-General Tanaka)

"I wish to express my heart-felt sympathy for the heavy damages caused by the Third Miyakojima Thphoon which struck Miyakojima, Kumejima and other islands on September 22 and 23. I recently visited the damaged areas to conduct an on-the-spot inspection as well as to express my personal sympathy to the victims of the disaster.

I was encouraged by the fact that the Government of the Ryukyu Islands established the Headquarters for Disaster Relief and was conducting on-the-spot inspections and was taking other emergency measures. In response to the request from the Headquarters for Disaster Relief, the Government of Japan intends to extend financial

Statement of Director-General Tanaka of the Prime Minister's Office on the Typhoon Relief in Miyakojima and other islands

I wish to express my heartfelt sympathy for the heavy damages caused by the hird Miyakojima Typhoon which struck Miyako-jima, Kume-jima and other islands on September 22 and 23. I recently visited the damaged areas to conduct an on-the-spot inspection as well as to express my personal sympathy to the victims of the disaster.

I was encouraged by the fact that the Government of the Ryukyu Islands established the Headquarters for Disaster Relief and was conducting on-the-spot inspections and was taking other emergency measures. In response to the request from the Headquarters for Disaster Relief, the Government of Japan intends to extend financial and technical assistance at the earliest possible date in order that emergency measures as well as

permanent

permanent measures aiming at stabilization of people's livelihood, rehabilitation of industry and reconstruction of public facilities may be carried out in an effective manner.

(interpreted)

and technical assistance at the earliest possible date in order that emergency measures as well as permanent measures aiming at stabilization of people's livelihood, rehabilitation of industry and reconstruction of public facilities may be carried out in an effective manner."

(Interpreted)

"Thank you very much, Director-General Tanaka."
(Interpreted)

4. (Agenda No.?, Agreement on Statement to the Press)

"Finally, I should like to consult with you on the ress release.

A draft press release was prepared at officials level and distributed to you. I should like to propose that this press release be distributed to the press and explanation be made in accordance with it. Do you have any objection to this?"

(Interpreted)

(The U.S. side will concur in the proposal)

"Then, it is agreed that the press release will be handled along the line I just mentioned."

(Interpreted)

5. (Closing)

"I should like to express to you all my appreciation for your cooperation, which has made the smooth proceeding of this meeting possible. I now wish to announce the closing of the 15th meeting of the Consultative Committee. Thank you very much."

(Interpreted)